

研修名	専門課程 河川情報の活用〔CommonMPの実践〕 【オンライン】 (平成22年度～：平成27年度まで「社会資本GIS〔河川〕					
目的・重点事項	<p>水・物質循環解析ソフトウェア共通プラットフォームコモンエムピーCommonMPの演習を通じて水理解析技術の向上を図り、河川計画・河川管理に関する地理空間情報の利活用を理解させることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① CommonMPを用いた流出計算・河道計算により、流域の流出特性、河道の流下能力などの解析技術の修得</p> <p>② 河川計画・河川管理に用いられる地理空間情報の整備・利活用の理解</p>					
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市又は独立行政法人等において、河川に関する業務を担当し、水理解析に関する知識を必要とする者					
定員(人)	国土交通省	他府省	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	16	1	2	1		20
研修期間	31.5時間 5日間			令和3年12月6日(月)～ 令和3年12月10日(金)		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(10.5)</p> <p>① 河川行政の展望、CommonMPの基本知識</p> <p>② 河川計画・河川管理に関する地理空間情報の利活用、地理院地図の利活用、衛星画像の活用、浸水推定図について</p> <p>③ 学識者からみたCommonMPの意義と活用</p> <p>2. 実習(7.0)</p> <p>① CommonMPの応用操作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貯留関数法流出モデルについて ・準二次元不等流計算モデルについて ・準二次元不等流計算モデルによる河川水位計算 <p>② CommonMPの課題操作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流域の流出特性分析 ・河道の流下能力の確保 <p>3. 課題研究等(12.5)</p> <p>4. その他(1.5)</p> <p>入校式、修了式、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 31.5</p>					
前年度からの 主な変更点	・実施手法変更(集合→オンライン)					
担 当	測量部 地理空間情報科 (TEL: 042-321-0957)					
備 考	テキスト代(予定) 8,000円 11,000円					

※新型コロナウイルスの今後の感染状況によっては、実施手法を変更して研修を行うことがあります。